

様式 A-1
(FY2022)

2022年 10月 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 大谷中学校・高等学校 豊田 将章 (片山 徹)
2. 講師氏名: Dr. Siyi Zhou
3. 講義補助者氏名: 吉村 果保
4. 実施日時: 2022年 10月 8日 (土) 14:00 ~ 15:00
5. 参加生徒: 1年生 7人、 2年生 9人、 3年生 2人 (合計 18人)
備考: その他 中学生 10人
6. 講義題目: Science is cool ; Japanese culture and Chinese culture , My motivation to become a scientist ,
What do I find interest In my research
7. 講義概要: 中国と日本の文化の違い, 日本文化における中国の影響, 何故科学者になろうと思ったのか, 現在の研究で興味深い所, 原子分子と素粒子, 素粒子の研究と今年のノーベル賞の内容
8. 講義形式:
対面 ・ オンライン (どちらか選択ください。)
 - 1) 講義時間 70分 質疑応答時間 20分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義, 実物やモデルによる演示
 - 3) 事前学習
有 ・ 無 (どちらか選択ください。)
使用教材 講演者の研究内容などのまとめを英文で学習

9. その他特筆すべき事項:

講演者が足が不自由なことを事前に知らされていなかったため、エレベーターのない3階の物理実験室での講演で、移動に大変ご負担をかけてしまった。大変申し訳なかったと反省しています。

スライドの英文が平易で、中学生を含め講演内容が分かりやすかったという反応でした。また、図や動画などいろいろな工夫されていました。コロナ禍で、マスク越しでの講演になり、どうしても聞き取りにくい面があるので、この点が非常に良かったです。ただ、若干文字の大きさが小さい時がありました。